交通安全のポイント

令和４年８月26日
福島県警察本部

１　交通事故発生状況（８月25日現在の概数）

※（　）は前年同期比

発生件数	死者数	うち高齢者	けが人数
1,666件 (-180件)	25人 (－４人)	17人 (＋３人)	1,919人 (-213人)

２　第１回反射材用品等着用実態調査結果

（1）　調査日

令和４年８月１日（月）から同年８月５日（金）までの間

（2）　調査対象

65歳以上の高齢歩行者（790人）

（3）　調査場所

本年度各署・各分庁舎ごとに選定している「反射材用品等着用推進モデル地区」において、スーパー・コンビニエンスストア等の商業施設やバス停留所、住宅街など、高齢歩行者が通行する機会の多い場所で調査をしました。

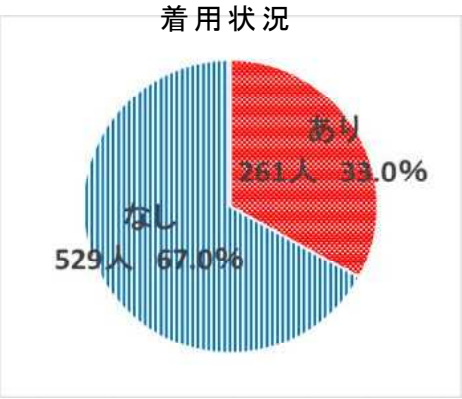
（4）　調査方法

歩行者に声を掛けて、年齢を確認した上で、目視により反射材用品等の着用の有無等について調査しました。

（5）　調査結果

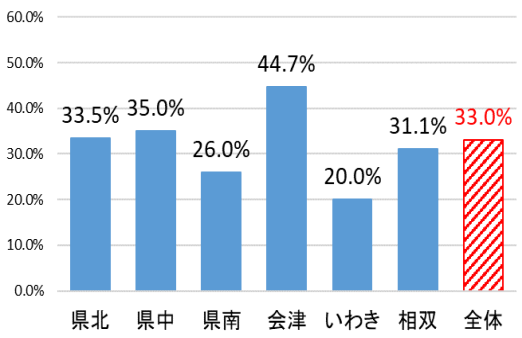
ア　着用状況

790人中261人着用
（着用率33.0%）



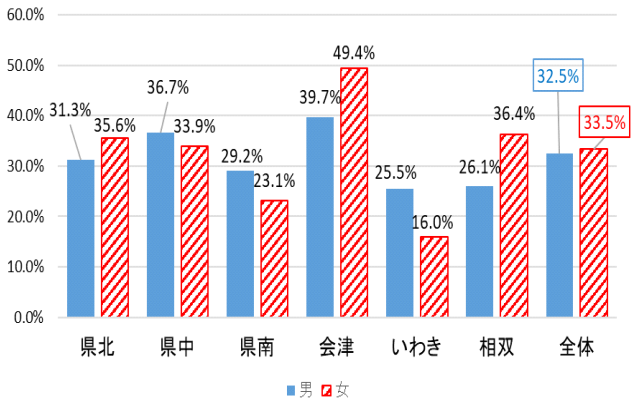
イ　反射材用品等着用率

（ｱ）　地域別着用率



※　方部別の着用率の特徴
「会津」が高く「いわき」「県南」が低い状況でした。

（イ）　地域別着用率

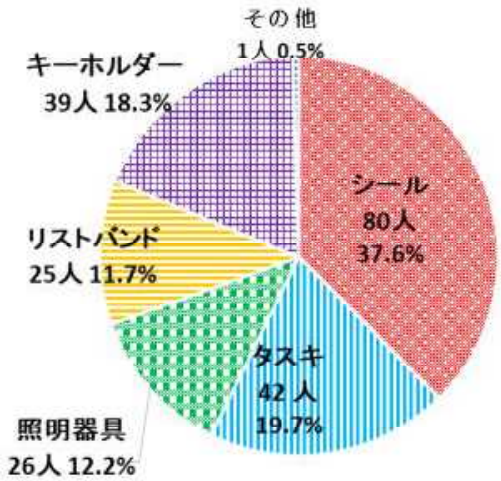


※　**男女別着用率の特徴**

　県全体の着用率は、女性の着用率が男性より高い状況でした。

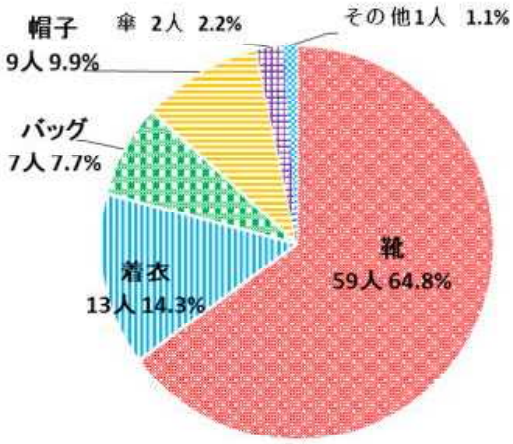
　会津、相双では女性が男性を大きく上回っています。

ウ　反射材用品等の種類



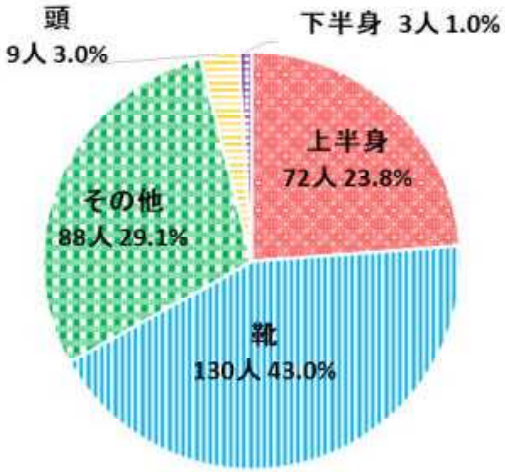
※　靴のかかと部分などに貼り付けるシールタイプの反射材を身につけている人が最も多く、次いで、反射材付きのタスキを着用している人が多い結果となりました。

エ　反射材組込用品



※　反射材があらかじめ組み込まれた用品の中では、靴を利用する人が最も多い状況でした。

オ　反射材用品等の着用箇所



カ　反射材用品等着用状況（男女別）

（ｱ）　反射材用品（男女別）

反射材用品	男	女	計
シール	37	43	80
タスキ	21	21	42
照明器具	19	7	26
リストバンド	10	15	25
キーホルダー	6	33	39
その他	0	1	1

※　反射材用品の男女別の特徴
シールとタスキで男女とも過半数を超えています。
キーホルダーは女性が３割を超えているが、男性では１割未満でした。

（ｲ）　反射材組込用品（男女別）

反射材組込用品	男	女	計
靴	29	30	59
着衣	6	7	13
かばん	0	7	7
帽子	5	4	9
傘	1	1	2
その他	0	1	1

※　反射材組込用品の男女別の特徴
靴が男女とも最も多い状況でした。
着衣・帽子・傘の割合が男女とも同等でした。

※　本調査結果の詳細及び反射材用品等着用推進モデル地区については、県警ホームページで公開する予定です。